



平成24年 (2012年) 1/1

編集・発行 鷺宮区民活動センター運営委員会 〒165-0032 中野区鷺宮3丁目22番5号 電話:3330-4127 FAX:3330-4131

[題字は長谷川昂氏]



三春張り子「たつ車」 中村 弘子さん

あけましておめでとうございます。運営委員会一同、穏やかな一年を願っています。本年もよろしくお願いいたします。今回は、日ごろ鷺宮の子どもたちを育てていただいている各校長先生に、新年のメッセージをいただきました。



都立鷺宮高校校長 石井 茂光

夢に向かって

今の高校生は、夢を本気で信じたことがあるのだろうか。夢を本気でめざせば、おそらく日々の学校生活が以前とは異なり変わってくると思う。是非、自分なりの夢を持ちそれに向かってチャレンジして欲しい。もし、夢をめざすことが苦しくなった時は、ここが分かれ道だと思つて欲しい。ここで投げ出すか、踏ん張れるかだ。どんな小さな一歩でもいい。夢に向かって進んで欲しい。その一歩で、また次が見えてくる。まずは、夢を持ち一歩を踏み出すことだと思つている。



中野区立第八中学校校長 稲生 高志

新年を迎えて

本校に着任して5年目になりますが、つくづく鷺宮地域の方々を支えられていると実感しています。昼休みの家庭開放や放課後の学習教室等でお世話になっています。学校の方針として、生徒のボランティア活動を重視し、地域の一員として貢献できる人間を育成していく事は、今後も継続していきます。これからも、地域の学校としての役割を果たしていきたいと思つています。



中野区立西中野小学校校長 栗原 康裕

頑張ろう日本、頑張ろう鷺宮

新年おめでとうございます。こうして新年を迎えられたこと、本当に有り難く思うと同時に、これほど待ちわびた思いでした。申すまでもなく昨年は東日本大震災とその影響等様々なことがありました。しかし、昔から節目を大切にしてきた日本、未だ震災の影響は払拭できてはいませんが、新年を機に気持ちを新たに、そして元気を出していきましょう。「頑張ろう日本、頑張ろう鷺宮」どうぞ今年も宜しくお願い致します。



中野区立鷺宮小学校校長 鈴木 栄子

未来に向かって

東日本大震災を経て、恙なく新年を迎えられることの有り難さを感じています。新しい年が、皆様と子どもたちに幸多い穏やかな年となることを願つてやみません。さて、辰年生まれにはどのような人物がいるのでしょうか。銀閣寺を建立した足利義政公、徳川幕府3代将軍徳川家光公、「羅生門・芋粥」等の作家芥川龍之介氏等、いずれも様々な文化に功績の合った先人達です。今年初めての年男・年女となる6年生の未来に思いを馳せ、成長がますます楽しみです。今年もよろしくお祝い致します。



中野区立若宮小学校校長 飯島 潤

辰と龍

年末・年始はあまり好きではないのです。何となく世の中が忙しくていけません。今年も辰年。風揚げの凧にも「龍」の文字。勢いのある生き物のようです。日本の経済も龍の如く上昇機運になってくれればよいのですが。学校も児童も、龍に負けずに元気よく勢いをつけて一年を駆け抜けられるように、やる気をもって学業に励みます。

住民基本台帳カード(住基カード)

＝郵送申請と無料交付が始まっています＝

- ◆手数料が無料です(平成24年11月30日まで)。
- ◆郵送申請で申込みができます。
 - ・申請書と顔写真(顔写真なし住基カードの方は不要)を郵送。
 - ・指定日時に、「照会書」と「本人確認書類2点」を持参のうえ、本人が区役所窓口でカードを受取ります。
 - ・夜間窓口でのカード受取り(完全予約制、時間指定)もできます。
 - ・即日交付希望の場合は、お問合せください。
- ◆コンビニ(セブン-イレブン)で住民票と印鑑登録証明書が受取れます(平成24年2月から。利用登録が必要です)。
- ◆詳しくは中野区のホームページなどをご覧ください。



問合せ: 中野区戸籍住民分野 住民記録担当 電話 3228-5627

暗唱をする児童の長い列

白鷺音読の会

小林 和夫

地元の鷺宮小学校では25年ほど前から音読の授業が行われ、現在も継続されている。平成20年4月、当時の校長吉本恒幸先生から、これまでは先生方が全部聞いてこられた児童の音読を、ことぶき・さぎのみや(菊田守代表)の皆さんにお願いしたい、との依頼があり、有志で「白鷺音読の会」を発足した。現在は15名ほどが毎週金曜日の第2時限と第3時限の中休み25分を利用して、児童の暗唱を聞いている。

最初はお互いに緊張したが、回を重ねるに従い打ち解けた雰囲気になり、今では時間になると児童が長い列を作つて、順番待ちの状態である。児童は一人ひとりが私たちの前に立ち身体でリズムを取り、覚えてきた詩や百人一首を暗唱する。一年生が小さな口をいっぱい開けて懸命に音読している姿はまさに愛らしい一言である。暗唱し終えた児童には、カードに合格シールを貼り、ねぎらいの言葉をひと言かけてあげる。私たち「白鷺音読の会」のメンバーも児童からたくさんエネルギー、生きる力をいただいている。

毎年8月に行われる群馬県前橋市主催の「詩のまち前橋 若い芽のポエム」は、全国の小・中・高校生対象の詩のコンクールである。平成21年度第13回コンクールに、鷺宮小学校で初めて応募した5年生男子児童の詩が、2万件を超える作品の中から第一位の金賞を受賞、他に佳作1名、22年度、23年度も各々2名入選している。これも、長年にわたる音読の成果ではないだろうか。また、音読により詩を理解する精神が育まれ、自分の考えを発表する自信も培われると考える。「白鷺音読の会」も児童の皆さんとの音読の交流を通じて、お役にたっているのではないかと自負している。

(ことぶき・さぎのみや副代表、白鷺3丁目在住) ※ことぶき・さぎのみや 中野区主催の「なかの生涯学習大学(旧ことぶき大学)」の、鷺宮地区の在校生、卒業生有志による文化団体。